

ウィズコロナ時代における学校組織のあり方と職員像

日時 会場	【大阪】 大阪ガーデンパレス 2022年2月8日（火） 13:00～16:15	【東京】 東京ガーデンパレス 2022年2月18日（金） 13:00～16:15
参加料	会員：1名無料、追加5,500円 / 一般：19,800円	
定員	大阪・東京 各60名（いずれかご都合のよい会場をお選び下さい。） ※ 1法人2名様までのご参加とさせていただきます。 ※ 本セミナーは録画し、 本会 Web サイトに動画を掲載いたします（会員限定・無料） 。ご参加できなかった方は録画視聴をお申込み下さい。 ※ 非会員の方には、DVD販売（19,800円消費税込）をいたします。申込フォームよりお申し込みください。	

プログラムと講師略歴

■ 13:00～14:30

「ウィズコロナ」における大学事務組織および職員の役割について

かねだ じゅんいち

金田 淳一 氏 [法政大学 多摩事務部長・総長室多摩キャンパス企画室長（兼務）]

- はじめに
- 過去の中央教育審議会等の答申から
- 大学事務組織および事務職員の現状と課題
- コロナ禍及びDX（デジタル・トランスフォーメーション）を受けて
- 大学行政管理学会の目指すもの
- 今後の方向性について
- おわりに

1984年法政大学法学部法律学科卒業、2010年法政大学大学院経営学研究科経営学専攻修了。

1984年法政大学に入職、2006年学務部学務課長、入学センター課長、総長室広報課長、2017年多摩事務部次長を経て、2018年多摩事務部長、2021年総長室付多摩キャンパス企画室長兼務。

日本私立大学連盟若手スタッフ研修および創発思考プログラム運営委員会委員長、同連盟研修委員会委員、大学行政管理学会副会長および会長を歴任。

■ 14:45～16:15

ウィズコロナ時代における大学組織のあり方と大学職員の役割

あらかし お

荒木 利雄 氏 [龍谷大学 教学部（瀬田教学部・教学企画部・矯正保護総合センター）事務部長]

- コロナ禍における大学としての危機対策
これまでのコロナ禍における対応から
- 柔軟な組織運営とは
法人運営と大学運営の観点から
- 組織に必要なIRとは
- 求められる大学事務職員のコンピテンシー
- 求められる大学事務職員の役割
- まとめ

1989年9月に学校法人龍谷大学に入職。これまで管理職として、学生部課長、教学企画部課長、キャリアセンター・インターン支援オフィス次長（課長職管掌）、グローバル教育推進センター事務部長、総務部長・業務改善推進室長などを歴任。2016年3月に関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科を修了、その後同大学大学院経営戦略研究科先端マネジメント専攻にて博士学位（先端マネジメント）取得（2019年3月）。2021年4月より、教学部、瀬田教学部、教学企画部、矯正保護総合センター事務部長を兼務。